

令和7年度 沼津特別支援学校愛鷹分校 第2回学校運営協議会 実施計画

担当：副校長

- 1 目的
 - ・ワーク地域の活動を通して、愛鷹分校が門池地区にとって必要な存在となるために、今後どのような取り組みをしていくかを考える。
 - ・保護者と教職員が、学校運営協議会との連携について理解する。
- 2 日時 令和6年8月5日（火）午前10時から午前12時まで
- 3 場所 沼津特別支援学校愛鷹分校
沼津市岡一色 875
- 4 参加者
 - ・学校運営協議会委員
 - ・ワーク地域先事業所
 - 小規模多機能ホーム ふれあい岡宮 管理者 森 一也 様
 - 万葉倶楽部株式会社 営業グループ マネジャー 谷井 丈明 様
 - 矢崎エナジーシステム株式会社 総務チーム 向笠 達也 様
 - ・愛鷹分校保護者
 - ・愛鷹分校職員
- 5 日程
 - 9時45分 受付
 - 10時00分 挨拶（校長、学校運営協議会 Co.）
日程説明
 - 10時10分 愛鷹分校と地域との学習の様子について
ワーク地域、防災学習などの紹介
 - 10時20分 グループごとの話し合い（途中休憩を含む）
 - ①各グループで、ワーク地域先での活動についてパワーポイントを使って紹介する。
 - ②地域とのかかわりで大切にすること、これから取り組みたいことについて意見交換する。
 - 11時45分 話し合い内容の共有
 - 11時55分 まとめ
 - 12時00分 終了

全体会①（協議会委員及び保護者）

○副校長 挨拶

第1回協議会の委員の皆様の強い希望を受け、保護者の方にも参加を依頼し、協議会委員の築紫さんを含めて5人の参加につながった。

○運営協議会 委員長挨拶（福田様）

先日、門池地区では痛ましい事故が起こった。だが、私たちが地域を守ること、子どもを守ることに変わらない。

この愛鷹分校の学校運営協議会は、昨年度は分校の全職員が参加できた。今年度は第1回協議会の議論から、保護者の方の参加も実現できた。地域、学校、保護者とみなで力を合わせてこの学校の運営に携われるようにしたい。

○日程説明（実施計画参照）

○本日参加の方紹介

学校評議員会委員の皆様と、ワーク地域先で生徒が学習している万葉の湯 谷井様、介護施設ふれあい岡宮 森様、矢崎エナジーシステム向笠様にご参加いただいている。

○愛鷹分校の地域での学習について（米山）

ワーク地域、ワーク工房などについて紹介

○グループごとの話し合い

ワーク地域先活動紹介（分校職員）

協議：地域との関わりで大切にしたいこと、今後取り組みたいこと

○全体会②（参加者全員）

協議内容の共有

A グループ：地域の方や相手の企業の方と挨拶ができることが大切

仕事をする上での基本的な態度を身に付ける、学校で学んだことを地域や企業で生かすことで、働く態度を身に付ける。

学校の教員だけではなく、他社からも評価される重要な機会。

企業は学びの場を提供するだけでなく、生徒から学ぶことも多い。

今後は、企業の方と関わる時間を増やし、アドバイスや改善策をいただく機会があるとありがたい。

B グループ：高校生のうちから企業に出させてもらっていることは良い機会となっている。職種を知り、進路選択へのよい機会にし、自己理解にもつなげていくようにしたい。

ワーク地域の経験を職場実習や職場体験などに返していく。

外部からの評価は生徒たちにとって大切である。

生徒たちの良さをわかってもらうことや、社会に出るまでに自信をもたせるようにした

い。

実体験できる場として、より充実させていきたい。

具体的な作業の様子などが写真やインスタグラムなどで確認できると、企業へのアピールや家庭での会話につながる。

外部評価、他者評価は大切。助言・指導・言葉掛けなどを増やす。日頃から、その場で行ってもらうことで本人たちの自信や家庭での会話につながれると良い。

家庭、企業、教育それぞれの立場から発信や充実させる取り組みを積極的に行えると良い。

Cグループ：生徒とワーク地域先との直接的な交流が成功体験につながる。失敗したとしても、ワーク地域先の方から改善策をもらったり、教師や友達と考えたりして失敗を次につなげていける。

生徒たちのことを知ってもらえること、仕事先として受け入れてもらえること、そして生徒が貢献することが大事。

地域の方にもっと知ってほしいと考えたときに、城北高校の保護者の方にも愛鷹分校を知ってほしい。作業製品をとおしてできるとよい。

単発ではなく、持続的に継続的にしていくことが大切。ワーク地域先でワーク工場の製品を販売するなどのコラボが増えるとよい。

コラボが増えることや生徒の学びにつながることで、生徒の学習が点から線になるように。

Dグループ：各企業（ワーク地域先）で特色のある取り組みがされている。だが、仕事としては一人で仕事ができること、報告や相談などができることが大切
企業で働く大変さを保護者は知ってほしいと考えている
企業側もこれまでと同じでよいか、考える機会となった。

第2回学校運営協議会の反省（委員の皆様の御意見）

1 日程について

- ・8/5(火)10:00～12:00 良いと思う

2 会場について

- ・城北館を全体会場は良かった
- ・校舎内の会場かと思い、校舎内へ伺いましたが、誰も居なく困っていた所、係の先生が案内をしてくれました。事前に教えていただけますと幸いです。（2人）

3 全体会やグループワークでの学校からの情報提供について

- ・適当であった
- ・先生方の説明は分かりやすく良かったと思います。
- ・他のグループで何を話したのか、もう少し聞きたかったです。

4 グループワークに対する御意見（進行や内容等）

- ・ファシリテーターの役割が大きい
- ・みんなの意見を聞いていたので良かった
- ・ワーク地域先の担当者、保護者、委員、教員が参加し、多くに視点から学校の取組について考えることができた。特にワーク地域先から現場の声を聞くことができ貴重な時間となった。
- ・親御さんとも直接話が出来て良かった。今後の作業の参考にさせていただきます。
- ・以下の点についてもう少し時間があれば良いと思いました。
 - ①保護者の方々の感想や意見を聞く
 - ②実習を受け入れた企業側の感想や意見
 - ③上記両者を中心とした今後につなげていくための意見交換

5 「ワーク地域」に対する御意見

- ・ワーク工房との一体的推進の考え方を模索すると良い（2人）
- ・適材適所、個性に合ったワーク地域での作業学習に務める
- ・より多くの場づくり、コーディネートが必要
- ・他の企業のご担当者との交流の場があると嬉しいです。他社での取り組みや考え方など、お話を伺えると参考になると思います。
- ・生徒はもちろん、関係各者にとって継続していきたい取り組みだと思いました

6 その他（来年度に向けての改善点等）

- ・何か新しい事を始めることよりも、今できることを継続することが大切
- ・校内でのワーク工房と校外のワーク地域との一体的推進を模索する
- ・これからもよりよい場づくりと意見交換から、よりよい地域とのつながりのある学びになる作業学習
- ・昨年も、8月の学校運営協議会にワーク地域企業担当として参加させていただきました。今年も、委員として参加をさせていただきましたが、来年も、ワーク地域企業様やPTAの方々にも参加をしていただき、より多くの方々と意見交換が出来るといいと思います

<参加した保護者の御意見>

質問1 ワーク地域についての感想や御意見

(1年保護者) 今日ご参加いただいたワーク地域の企業ご担当者すべての方と、意見交換する機会があれば良かったと思います。自分の子供たちが、将来に向けてどのような職種が合うかどうか見極める材料にしたいと考えるためです。4グループに分かれてたので、他の企業の業務内容が全く分かりませんでした。子供本人で決めるのは、なかなか難しいため、親として情報を集めたいと思います。親も見学できればなおいいなと思います。

(1年保護者) 今回初めて参加をさせていただきましたが、企業様側の意見や考えが直接聞けたり、また保護者側からの意見を聞いていただける機会をもらえてありがたかったです。地域の方々が、生徒達のことを理解して、見ていただいているのを直接聞いてよかったです。

(3年保護者) ワーク地域では自分が今後どの職業につきたいのかを考えるととても大切な時間だと思いました。今後、ワーク地域の受け入れ先が増えることで子供達の選択肢がますます増えることを願っております。布と緑工房で作ったものが、どのように消費者へ届くのかを生徒自身が知れることは自信につながると思いました。作って終わりではなく販売をして、消費者と直接触れ合う、ふれあい岡宮さんが点を線で結んでくださっていると感じました。

質問2 学校運営協議会についての感想や御意見 (保護者に広めていくための方法等)

(1年保護者) 保護者が参加できる機会を作って欲しいと思います。PTAとの連携はどのくらいあるのでしょうか。学校運営をもっとより良くするためには、親の参加は必須だと思います。4グループに分けた理由が今ひとつ分かりませんでした。校長を始め、先生方の出席した交換会の定期会議を期待します。

(1年保護者) 今回、PTAでしかお知らせがなかった気がしたので、生徒へ渡す紙での配布(お知らせ)や、全生徒の保護者へのメールをすると次回参加者が増えて、もっと沢山の意見が聞けるのではないかと思います。

(1年保護者) ワーク工房の話聞き、生徒達が地域の方々に支えられ、育てていただいていると感じました。保護者に広める方法として、工房で作ったものを多くの方に販売し、愛鷹分校や生徒達のことを知ってもらえたらと思いました。

第2回学校運営協議会の反省（教員）

1 日程について

良い。移動で各グループの迎えが必要ならば前もって打ち合わせをしておいた方が良い。また、はじめの会も短い時間なので全体で出ても良いと感じました。

2 会場について

城北館を使えたことは良かったと思いますが、グループの時に何人かの参加者から向こうに行くのですか？と聞かれたので、すべてを城北館か校舎のどちらかで行えると良いのかなと思いました。

3 全体会やグループワークでの学校からの情報提供について

本校の教育課程や学習内容についての説明を全体会でどこまでしていたかわかりませんが、ワーク地域の情報共有や意見をいただくにしても、こちらがどうしていきたいかなどの課題がある程度ははっきりしておく必要も感じました。

全体会の米山先生の提供内容をファシリテーターの先生が見に来ていました。グループでの話し合いでどのようなことが話題提供されたのかを知った上で話をするのは大事だと思いました。

4 グループワークに対する意見（進行や内容等）

はじめの全体会には全員出るべきだと思いました。会の進行や意図については外部の方を招いてのことなので、一度直前に打ち合わせや全体共有をしておくべきだと感じました。

グループの話し合いがどのように進むのかが心配でしたが、参加した協議会の方や保護者の方がたくさん話してくれてありがたかった。